

公開概要書

受付日	令和 8 年 7 月 30 日	回答日	令和 8 年 8 月 18 日	担当課	交通対策課
意見等の内容	①益田駅内のコンビニが閉店するなど、大変寂しく思っている。少なくとも、時計およびホームの上屋・椅子の撤去に対しては、市からも JR 西日本へ働きかけをしてほしい。 ②駅舎の整備について、他の市町の駅は立派な駅舎が建ち、観光の顔となっている。益田駅を石州瓦を特色とした親しみのある、市民の誇れる駅舎にしてほしい。 ③駅舎などの保存について、石見津田駅のように他の用途で活用しながら、保存できるような仕組みをつくってほしい。				
回答の内容	JR 駅の駅舎に関しましては、所有者である西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR 西日本）が管轄する物件となっておりますが、駅舎および駅舎の環境を整備することは利用率・利便性の向上につながり、益田市民だけでなく、益田市に訪れる方々にとっての魅力あるまちづくりを推進していくうえでも必要なことであると考えております。 市としましては、鉄道路線の利用促進を行うとともに、JR 西日本との意見交換の場など様々な機会をとらえまして駅の利便性向上に向けて要望してまいりたいと思っておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。 ①時計およびホームの上屋・椅子の撤去などにつきましては、市からも JR 西日本に対して時計およびベンチの再設置を要望しているところでございます。今後も、早期の実現に向けて、引き続き要望して参りたいと存じます。 ②益田駅は JR 山陰本線と山口線が合流するハブ駅であり、特色のある駅舎にすることは、観光の観点から見ても一定程度の効果が見込まれると思われれます。しかし、前述のとおり、駅舎は JR 西日本が管轄しており、JR 西日本との協議が必要となって参ります。市としましては、駅舎の整備と観光における効果等を JR 西日本とも協議しながら検討を行なって参りたいと存じます。 ③石見津田駅は地域自治組織に駅舎を貸し出し、地域と連携した活用事例でございします。今回いただいた意見も参考にさせていただきながら、鉄道路線の利用促進を図るとともに、地域の実情に応じた駅構内施設の多様な活用方法を JR 西日本とも連携・検討を行なって参りたいと存じます。				